

2 福祉・介護人材の確保対策の推進

169億円(44億円)

<主な事業>

○ 福祉・介護サービス従事者の確保の推進

- ・ 新たに福祉・介護サービスに従事した者に対する巡回相談及び事業者への助言、実習受入施設のレベル向上のための講習を実施する。《新規》
(セーフティネット支援対策等事業費補助金 210 億円の中で対応)

(参考)平成20年度第2次補正予算案において、福祉・介護人材の育成・定着を促進する。

- 1 福祉・介護人材確保のための緊急対策 **【205 億円】**
 - ・ 学生、教員等に対し福祉・介護の仕事の選択を促すための相談・助言事業
 - ・ 潜在的有資格者等の再就業を促進するための研修事業
 - ・ 複数の事業所等の共同による求人活動や職員研修等事業
 - ・ 職場体験の機会の提供事業
- 2 介護福祉士等修学資金貸付制度の拡充 **【320 億円】**
 - ・ 介護福祉士・社会福祉士養成施設の入学者に対して修学資金の貸付けを行う制度について、貸付限度額の引き上げ、返還免除要件の緩和等を実施する。

○ 地域における人材の確保

2.6億円

- ・ 「安心と希望の介護ビジョン」を踏まえ、「高齢者地域活動推進者(コミュニティ・ワーク・コーディネーター)」を年間300人(10年間で3,000人)養成することとし、意欲ある地域の高齢者や住民が、主体的・積極的に活動するための環境を整備する。
- ・ 新たな住民参加型サービス等の担い手を養成し、介護保険制度等社会保障制度と相俟って、市民のための市民による支え合いの基盤を整備する。

○ 介護労働者の確保・定着

159億円

- ・ ハローワークに「福祉人材コーナー」を設置し、関係機関との連携による、潜在的有資格者等の掘り起こし、きめ細かな職業相談・職業紹介、求人者への助言・指導等を実施する(「福祉人材確保重点プロジェクト(仮称)」の推進)。《新規》
- ・ 介護業務未経験者の雇入れ等介護労働者の雇用管理改善に取り組む事業主等に対する総合的な支援を実施する。

3 地域福祉の再構築

<主な事業>

○ 地域福祉の再構築

- ・ 地域において様々な生活課題を抱えている者を早期に発見し、公的な福祉サービスや地域の支え合いなどによって問題解決を図っていくための仕組みを構築する。
(セーフティネット支援対策等事業費補助金 210 億円の中で対応)